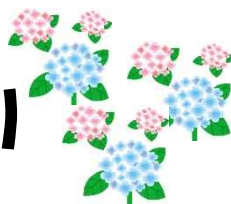




図書館だより



瑞穂野中学校



Time is money. 一時は金なり

時間はお金と同様に貴重なものだから、決して無駄にしてはいけないという戒め。時間は無駄に費やすものではなく、有効につかうべきである。

『時の記念日』(6月10日)日本の記念日の1つで、時間の大切さを尊重する意識を広めるために設けられました。時間というものを改めて考えてみましょう。

皆に平等に与えられている時間ですが、進んでしまった時間は戻すことができません。今日の自分に何ができるのか意識しながら、今という瞬間を輝かせていきましょう。



「モモ」

(943/エ)ミハヤエル エンデ

岩波書店



「寿命図鑑」(46/ヤ)

やまぐち かおり
いろは出版

～蔵書点検及び夏休み前特別貸し出しのお知らせ～

7/3(月)～7/14(金)まで、蔵書点検が行われ、期間中閉館となります。それに伴い、6/26(月)～6/30(金)及び7/18(火)～7/20(木)までを夏休み前貸し出し期間とします。通常の3冊→5冊に貸し出し冊数が増え、借りた本は夏休み明けまで持っていていいです。

夏季休暇を
有効に使おう！

図書室ボランティア活動



5月15日(月)
10時～12時に
かけて4名の図書
ボランティアの
方々が、図書室の

壁面の装飾を作りに来てくださいました。
6月の壁面に合わせて、てるてる坊主です。



後日、図書委員3年生全員で仕上げました。



ご興味のある方は、
瑞穂野中学校 副校長まで。

ご家庭での『家読』のすすめ

栃木県では、本を読んで感想を話し合ったり、好きな本をすすめたり、家族や身近な人と読書週間を共有する取り組みとして「家読」を推進しています。各ご家庭で「家読」を交え、読書後に親子で感想を述べ合う時間を持つてみてはいかがでしょうか。

学校でも朝の読書やブックトークなどで生徒の読書活動を支援してまいります。是非ご家庭でも、本を通じて家族のふれあいの時間を大切にしたいと思っています。

地域の方へ
図書ボランティアを募集しています

1. 図書室壁面の飾りつけ
2. 新しい本の受入の手伝い
3. ブックトーク(本の紹介) など



～ 新刊本が入りました！ ～

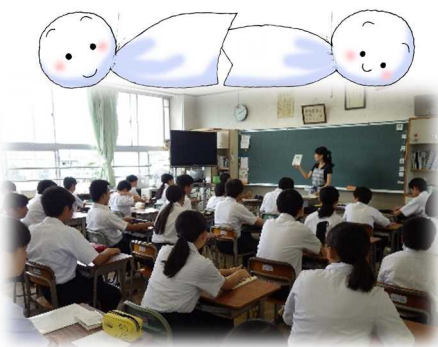
本の装丁を整え、皆さんの元に早く届けられるよう、作業をすすめています。



『図書選定委員会』において、購入決裁の通った本について順次届いています。
どのような本が学校図書館に並ぶのか、楽しみですよね。

また図書委員会では、夏休み前の読書案内として図書委員おすすめ図書の紹介をお昼の放送で行う予定です。担当クラスと実施日については下の表の通りです。図書委員の美声をご期待ください。

担 当	(3-1)	(3-2)	(3-3)
期 日	7/5 (水)	7/6 (木)	7/7 (金)
担 当	(1-1)	(1-2)	(1-3)
期 日	7/10 (月)	7/11 (火)	7/13 (木)
担 当	(2-1)	(2-2)	(2-3)
期 日	7/14 (金)	7/18 (火)	7/19 (水)



6月末に宮チャレ（職業体験）を控えた2年生を対象に、お仕事に関連したテーマでブックトークを行いました。その様子をお伝えします。

「食品サンプル製作」の職人さんや、「LNG（液化天然ガス）船の船長」という特殊な職業、「プラネタリウム解説員」など、世の中には多種多様の職業があり、それぞれ大変な部分、また、やりがいを感じる瞬間があります。（毎日新聞社の『仕事発見！』より）

テーマは **～仕事 夢を実現するために～** です。

映画にもなった、北川恵海さんの『ちょっと今から仕事やめてくる』は、いわゆるブラック企業で働く主人公が、同級生と名乗る男と行動を共にするところから、仕事ももちろん大切かもしれないけれど、人生の中で本当に大切なことって何なのか、みんなにも一人ひとり帰る場所があるんだよ、と気づかせてくれる本です。物事を多面的に見る力や、先を見通す能力に長けていたと感じさせる、スティーブ・ジョブズの『人生を変革する言葉』では、アップル社のコンピューターなどで成功をおさめ、巨万の富を手にしたことでも有名な彼が、数々の試練や挫折を味わいながらも、彼の原動力はどこにあったのかというと、最終的には、金儲けではなく、世界の人類の未来のために、すごい製品を創る。そして優れたアイデアを世の中の人に伝える手段として、会社を設立したそうです。この、「人のために働く」部分でつながるのが、喜多川泰さんの『手紙屋～蛍雪(けいせつ)編～』受験勉強に対する意識改革のお話ではありますが、将来の色々な物事の考え方につながる内容です。そもそも、人はなぜ働くのか。なぜ高校や大学へ行くのか。そして根本的になぜ勉強するのか。考えたことがありますか？勉強を単なる義務と見るのではなくて、勉強は1つの道具であり、例えば将来、“こんな毎日だったら素敵だなあ…”。と思える日々を送るために、自分は今勉強しているんだ、自分を磨いているんだ、と視点を先に向け、素敵な未来を想像しながら勉強というものに取り組んでいってほしいと思います。

『仕事発見！』
(36/マ)
毎日新聞社



『ちょっと今から
仕事やめてくる』
(B913/キ)
北川恵海/角川書店

●『手紙屋 蛍雪篇』
(913/キ)
喜多川泰
ディスカヴァー・トゥエンティーン



●...瑞穂野中推薦図書

